

Press Release 2021.2

「ライアン・ガンダー われらの時代のサイン」開催延期 および

ライアン・ガンダーが選ぶ収蔵品展『ストーリーはいつも不完全……』『色を想像する』開催のお知らせ

平素は東京オペラシティアートギャラリーの展覧会活動に対しまして、格別なご高配ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。2021年4月より開催を予定していたライアン・ガンダーの個展は、新型コロナウイルス感染症を巡る情勢の急激な悪化、ことにイギリスにおけるロックダウンにより、やむなく開催延期することとなりました。この展覧会を楽しみにして下さっていた方々に心からお詫び申し上げます。

ガンダー展の開催延期にあたり、ガンダーから「この状況で僕にできることはないだろうか」「収蔵品展のキュレーションはイギリスからでもできるのでは」と申し出があり、当初上階(4階)で予定していた「ガンダーによる収蔵品展」を全館で開催することが決まりました。

ガンダーの作品制作の特徴のひとつに、日常生活で気に留めることすら忘れていたあたりまえの物事に光を当て、あらたな視点で観察したうえで解釈し、表現する点が挙げられます。私たちの周りを鋭く分析しつつ、ユーモアをまじえて制作されるガンダーの作品はコンセプチュアル・アートの最先端をいくもので、見る人の思考や創造力を刺激します。その視点・考察・解釈が当館の収蔵品に向けられたら……。当館の収蔵品は故寺田小太郎氏によるプライベート・アイ・コレクションであり、これはライアン・ガンダーx寺田小太郎の一对一の会話といえる展覧会でもあります。

どんなに困難な状況でも冷静に考え、発想の転換でよりよいものにしてしまおうとするガンダーの姿勢と能力は、彼の個展の準備段階でも何度となく目にする機会がありました。そして、これが彼の制作に通底しているからこそ彼の作品が魅力的なのだ、と今あらためて思われます。

ライアン・ガンダー自身の個展は、世界がもう少し穏やかになった頃の実現を目指し、今回は、当館の収蔵品をガンダーがどのように見て、展覧会という形で表現するのか、3階/4階それぞれを使った二つの企画として行います。このような状況だからこそ、できることはないか。その体現を買って出してくれたガンダー、コレクションを遺して下さった寺田氏、そして収蔵作品の作家の皆さまに心から感謝し、さあまた一緒に楽しい展覧会づくりをしよう、とポジティブに取り組んでおります。

4月の開催まで皆様ご愛いただきつつ、私たちの新しい挑戦となるこの展覧会をぜひ見にいらしてください。



[出品予定作品] 小山穂太郎 《Cavern》2005
ゼラチンシルバープリント photo: 早川宏一

【ライアン・ガンダーのキュレーションによる収蔵品展の特徴・見どころ】

- ① イギリスのロックダウンにより個展での開催が難しくなった状況で、ガンダーからの申し出により実現する企画。
- ② ライアン・ガンダーと故寺田小太郎氏、東京オペラシティアートギャラリーのコラボレーションが実現。
- ③ 3階4階、全館を使った大規模な収蔵品展。
- ④ これまで一度も展示されたことがなかった作品もガンダーのキュレーションによってお目見え。
- ⑤ ライアン・ガンダーの個展は感染症が落ち着いてからの開催を予定。今回の本展はプレ展覧会として位置付ける。

【開催概要】

展覧会名：ライアン・ガンダーが選ぶ収蔵品展
『ストーリーはいつも不完全……』『色を想像する』

会期：2021年4月17日[土] - 6月20日[日]

会場：東京オペラシティ アートギャラリー

開館時間：11:00-19:00 (入場は 18:30 まで)

休館日：月曜日 (5/3 は開館)

入場料：一般 1000 [800] 円 / 大・高生 600 [400] 円 / 中学生以下無料

主催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

協賛：ジャパンリアルエステート投資法人

協力：TARO NASU

お問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)



[出品予定作品] 李禹煥 《風と共に》1989
岩絵具、油彩、キャンバス photo: 斎藤新

*同時開催「project N 82 松田麗香」の入場料を含みます。

* [] 内は各種割引料金。障害者手帳をお持ちの方および付添 1 名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

*新型コロナウイルス感染症対策およびご来館の際の注意事項は当館ウェブサイトをご確認ください。

収蔵品展の詳細内容については次回のプレスリリースにてお知らせいたします。

また、最新の情報は随時当館ウェブサイト、SNS および特設サイトでお知らせします。

